

子どもたちの救命リレー「119番の日」

柏市消防局

柏市消防局旭町消防署では、11月9日「119番の日」に、市内の小学校5、6年生を対象とした救命講習を実施しました。本市は、2013年に県内初の「ジュニア救命士制度」を設け、救命講習を授業に取り入れることにより、幼少期のうちから命の大切さや救命法を子どもたちに根付かせています。ジュニア救命士として認定を受けた子どもたちからは「人が目の前で倒れたら勇気を出して大きな声で助けを呼び、救急車が来るまで命をつなげます。」と、力強い決意が感じられました。



岐阜県警合同水難事案対応訓練の実施について

恵那市消防本部

令和2年8月20日、21日の両日、水難事案対応訓練を実施しました。20日は岐阜県警と合同で行い情報共有及び小型船舶ボートによる溺者救出訓練を実施しました。

恵那市消防本部管内には矢作ダム、阿木川ダム、木曽川と豊富な水量を誇るダム湖及び夏場には多くの遊泳者が訪れる河川があることから、ボートから男性が落水したとの想定の下、要救助者救出訓練、救命策発射銃による溺者救出訓練、小型船舶ボートの操縦訓練等を行いました。

今後も訓練を継続して実施し、有事の際に迅速な救助活動の確立及び連携活動の向上を図ります。



消防通信 望楼 ぼうろう

「バイスタンダーの的確な応急手当が「尊い命」を救う!」～消防協力者に感謝状を贈呈～

京丹後市消防本部

市内の海水浴場で発生した水難事故において、現場に居合わせた2名が協力し、溺れた男性（小学生）を救助し、即座に応急手当（心肺蘇生）を行ったところ、男性の意識が回復し、救急隊へと引き継ぎました。救助された男性は、病院での治療の後、元気に通学しており、バイスタンダーの的確かつ迅速な応急手当が、社会復帰に導きました。

このバイスタンダーに対し、11月4日（水）、人命救助に大きな功労があったとして、感謝状の贈呈を行いました。

※1名は、都合により欠席



警防要員を予防技術資格者に認定

守口市門真市消防組合

令和2年5月25日に予防技術資格者の認定を行いました。令和元年度より予防技術資格者は標章を着用するとしており、今回19名の検定合格者に標章を交付しました。

そのうち11名は警防要員で、標章を着用することで予防業務に対して興味を持つ若手職員の見本になるなど相乗効果が生まれています。

本消防組合では、予防業務を志す若手職員にとって予防技術資格者が憧れとなるように、標章に誇りを持って予防業務に従事していきます。

